

🥯 💯 海洋教育ネットワーク通信 NO.49 2019年3月7日



2月21日(木)、初声中学校の3年生が、海藻おしば教室に参加しました。 最初に、海藻おしば協会の野田会長が、「海藻おしばで海と地球環境を考える」 ~光はごはん、海をよごさないで~という DVD で、海の森の大切さを訴えまし

た。海の森は、生き物のすみかになるとともに、 海を浄化する力があるということを強調され ていました。

また、海の植物が吸収する СО2 (ブルーカ

ーボン)の量は、陸上の植物が吸収するCO2(グリーンカーボン)の量の2. 5倍であることや海藻にはなぜ、紅藻、褐藻、緑藻などの色があるのか等につ いても、詳しく話していただきました。





最後に、地球の温暖化等について、一人ひとりが考えて、「地球を救ってほしい」 と、子どもたちに訴えかけました。

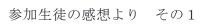
その後、子どもたちは海藻おしばづくりに取り組みました。マクサ、アナアオ サなど全部で10種類の海藻を、水で濡らした台紙の上に、楊枝等を使って広げ て、デザインしていきました。それぞれ個性にあふれた作品が次々に出来上がっ ていきました。

これらの作品は、協会の皆さんが、ラミネート加工して下さり、1週間後には、 子どもたちに帰ってくるそうです。

子どもたち全員に、お土産として、海藻のしおりをいただきました。

貴重な体験をさせていただきました海藻おしば協会、日本海洋レジャー安 全・振興協会の皆さん、ありがとうございました。





- ・海藻には1500種類もあるってことに驚いた
- ・海藻は、海の中で生きていて、他の魚のすみかになり、私たちの食べ物として も活躍してくれているのに・・・
- ・海の植物が、陸の植物の何倍もの二酸化炭素を吸収していることに驚いた
- ・海藻は、海の深さなどによって色が違っていること

がわかった/「海の森」というワードが、特に心に残った

- ・緑の海藻の仲間が、一番に陸に上がったことがわかった
- ・海藻も、私たちの暮らしに関わっていたのは知っていたが、その環境は、私た ち人間がどうするかで変わっていくということを初めて知った



(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所 854-9443 まで